

事業所防災リーダー通信 2026 Vol.3

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



“安全第一”の帰宅ルール

こんな時
どうする？

巨大地震が発生したことを想定します。
揺れがおさまった後、次から次へと従業員から「家に帰りたい」と言われました。
誰にも言わずに帰った従業員もいるようです。
事業所・店舗は非常に混乱しているなか
事業所防災リーダーであるあなたはどう行動しますか？



POINT

混乱しないために、「帰宅ルール」を決め、従業員に伝えておきましょう。

▶「大規模な災害が起きた時は、一時的に、家へ帰れない可能性があること」を伝えておきましょう。

▶「帰りたくなる理由」の一つに「家族の安否が分からない状況」があります。
安否確認の方法について、事前に家族で話し合っておいてもらいましょう。

帰宅のルール Q&A

Q1 発災から3日経ったら、従業員を一斉に帰しても良いですか？



A いいえ。

- ①帰宅するルートが安全な状態であるとは限りません。
「安全に帰れることが分かってから帰る」が鉄則です。
- ②公共交通機関が復旧してから一斉に帰宅を始めると、混乱が生じる恐れがあります。
そのため、「分散して帰宅すること」が推奨されています。
- ▶「帰宅の優先順位」をあらかじめ決めておきましょう。
例：ルートが安全だと分かった従業員から帰す、歩いて帰れる従業員から帰すなど

Q2 「電車が動いているらしいとSNSで言っていた」と従業員から言われました。
自宅へ帰しても良いですか？



A いいえ。

大規模な災害が起きた時は多くの「デマ」が流れ、非常に混乱します。
帰宅の判断も、**信頼できる公的機関、交通事業者の情報を参考にしましょう。**

※出典元「東京事業所防災実践マニュアル」P106～P109「6.帰宅する際の基本ルールとは」より

東京事業所
防災実践
マニュアルは
こちら



東京都からのお知らせ

東京都では**一斉帰宅の抑制**について、日ごろからイメージしてもらうために【ガチャピンとムック】がわかりやすく解説する動画を作成しております。本動画はどなたでも無料で、ご都合のよいタイミングで視聴いただけます。下記のリンクまたはQRコードからぜひご覧ください。

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1006183/index.html

